

## 事例①

## オレオケミカル・ファインケミカル分野の強化・推進

昭和産業グループが成長・発展していくために新規分野への挑戦は不可欠です。少しずつ成果が出ている、オレオケミカル・ファインケミカル分野の新市場の創造による様々な取り組みについてご紹介します。

～昭和産業グループのオレオケミカル・ファインケミカル事業～  
植物油製造過程で発生する副産物を、石油由来原料の代替品（オレオケミカル）や高純度かつ高付加価値の素材（ファインケミカル）にアップサイクルする取り組み

| 背景                                                                                                                                                                                                                         | 取り組みと成果                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題解決力の深化、イノベーションの促進を図るため、2021年4月に人事制度を刷新し、新規事業を立ち上げイノベーションを起こしたいという意欲のある従業員を社内公募により選出する職位を新設</li> <li>■ 2020年7月にボーソー油脂グループが当社グループ入り<br/>→ 新規分野である「米ぬか由来オレオケミカル事業」の検討開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ オレオケミカル・ファインケミカル分野の事業化推進に挑戦<br/>→ ファイトケミカルプロダクツ社への出資により、新たな技術を獲得<br/>→ ボーソー油脂の副産物（ライスワックス）が配合された接着剤を自社製品の包材に活用<br/>→ こめセラミドの商品化（食品・化粧品）</li> </ul> |

## ■ 取り組みの経緯

オレオケミカル・ファインケミカル事業化検討 プロジェクトリーダー **園部 晋也**



私は過去に現在の機能素材グループという部署に在籍していた際に、未利用資源のアップサイクルに取り組んでおり、その中でバイオマスゴミ袋の研究開発に従事した経験があります。その際には当社に技術的知見がない中で当社の持つ様々な繋がりを活用しながらオープンイノベーションで他社と連携し、実証試験や協業相手探し、販売先探しなど四苦八苦しながら進めていきました。

2021年に新規事業を創出する職位が新設された際に、その取り組みテーマの一つとして「米ぬか由来のオレオケミカル事業の検討」があり、自分の経験が生かせると思い応募しました。実際に2022年4月に任命され、プロジェクトリーダーとして本テーマに取り組んでいます。

ボーソー油脂 営業本部営業第1部 主任 **渡邊 優**



ボーソー油脂ではもともと脂肪酸・ワックスなど、食品以外用途の副産物販売チャンネルを持っており、私は営業担当として活動していました。

2022年4月に園部さんが昭和産業でオレオケミカル・ファインケミカルの事業化検討をスタートさせた同じタイミングで、ボーソー油脂でも同様のプロジェクトを発足させることとなり、営業担当者として私も参加することになりました。

ビジネスプランニング部 部長 **水本 康崇**



昭和産業では、新規事業創出のテーマとして3つの案件が立ち上がりましたが、オレオケミカル・ファインケミカルのテーマについては、2023年4月に新設されたビジネスプランニング部が主管を担うことになりました。私が以前所属していた油糧研究グループ時代に中期経営計画に掲げ検討していたテーマでもあったため、私のこれまでの経験も事業化推進に貢献できると考えました。

## 取り組みの中で生じた課題や手応え、成果

**園部** ▶ 取り組み始めた当初は何が課題かも分からない中でボーソー油脂に出向することになり、まずはボーソー油脂の様々な人に話を伺い、知見を得ることに努めました。ボーソー油脂には原材料はありましたが、商品化する抽出・精製・分離技術や生産ラインがありませんでした。その時、プロジェクトメンバーが展示会をきっかけにファイトケミカルプロダクツ社の存在を知り、同社にアポイントを取ったところ、米ぬか由来の原料を取り扱っていることが分かり、関係性を構築していくようになりました。

研究部門としては協業したい会社に出資することはハードルが高く選択肢になりにくい中、ビジネスプランニング部が主管部署となったことで、昭和産業の経営陣との距離が近くなり、ファイトケミカルプロダクツ社と資本業務提携を実施することに繋がりました。

**渡邊** ▶ ボーソー油脂だけで販売していた頃は人的リソースが足りておらず、担当者はいるものの事業の舵を取るポジションが不在でした。なにか新しいことをやりたいときにハードルが高く悩んでいたところ、組織横断的プロジェクトが発足しました。課題討論会の場で皆と活発な議論をしたり、経営に報告することができるようになり、組織としての流れができてきたと思

います。一つの案件を進めるスピードが格段に速くなり、昭和産業グループとして昭和産業と協業できるメリットは大きいことだと感じました。

プロジェクトの活動の中で、化粧品の

展示会にボーソー油脂のこめセラミドとファイトケミカルプロダクツ社の製品を初展示したり、米ぬか由来の副産物（ライスワックス）が配合された接着剤を自社製品の包材に活用することができました。

**水本** ▶ 油糧研究グループに所属していた際に本テーマを検討していた頃は、当社グループの経営資源が足りずに他社との差別化、優位性に課題があり、実現に至りませんでした。しかしながら今は米を扱うボーソー油脂がグループに加わったこと、高い技術力を持つファイトケミカルプロダクツ社と資本業務提携を実施したことで、ようやく全てのパーツが揃い手ごたえを感じています。



## 今後の課題や目標など

**園部** ▶ ファインケミカルは現在米ぬか由来の副産物で取り組んでいるようなアップサイクルの方向性で進めていきます。昭和産業グループには大豆や菜種もありますので、まだまだ展開できていると感じています。その中で、これからは昭和産業グループだからこそできる「健康」に貢献していきたいと考えています。

オレオケミカルは石油代替として必ず原料系のニーズがあると考えています。いつでも提案できる技術は持ち続けていきたいです。燃料に関しては当社グループ内で利用（生産・輸送）する他、地方自治体との連携など環境課題として取り組んでいきます。

**渡邊** ▶ 3年間のプロジェクト活動でようやく商品化に至ったと

ころであり、拡販についてはこれからになります。油や脂肪酸はポリウムで動かすユーザーが多いですが、今後は新しい商材を機能面や有効性を謳って販売していきたいと考えています。これからも市場から情報を吸い上げ、商品開発を進めていきます。

**水本** ▶ オレオケミカル・ファインケミカル分野での取り組みを一つのモデルケースとして社内に周知し、従業員が積極的に自身のアイデアを発信できる風土を作りたいです。優れたアイデアがあれば適切に評価して経営に繋げる、そのような役割をビジネスプランニング部が担えたら嬉しいです。

## TOPICS | ファイトケミカルプロダクツ株式会社について

ファイトケミカルプロダクツ社は、東北大学発のスタートアップ企業であり、イオン交換樹脂を用いて高純度の有効成分を高効率かつ複数同時に生成できる反応分離技術を活用し、こめ油の製造過程で発生する副産物からスーパービタミンE、パラフィン、植物ステロール等の機能性素材を製造するプロトタイプのプロントを稼働させ、製造販売を行っている会社です。

昨年同社と資本業務提携を実施し、当社グループから発生する副産物に同社が持つ反応分離技術を掛け合わせ、穀物の新たな可能性を研究していくとともに、開発のスピードアップ、販売の強化など多角的な協力関係を構築し、事業拡大を目指します。

